

令和7年11月5日

姫路駐屯地におけるオープンカウンター方式による見積依頼について

- 1 本リストは、オープンカウンター方式実施要項に基づく手続が必要です。
- 2 本方式は随意契約を前提とした見積依頼であり、有効な見積書をもって申込みをした者のうち、予定価格の制限の範囲内で最低の価格の見積書をもって申込みをした者を契約の相手方とします。
- 3 件名リスト

番号	件名	納入（履行）場所	納期（履行期限）	見積依頼書公表日	見積書提出期限	見積合わせの日時	防衛省競争参加資格	備考
65	姫路（7）省庁別宿舎（桑の木）非常警報装置取替	陸上自衛隊姫路駐屯地	8.2.27	7.11.5	7.11.10 10時30分	7.11.10 10時30分	なし	・総品目総額決定 ・同等品判定依頼書提出期限 令和7年11月7日10時30分

4 適用する契約条項

駐屯地用標準契約の役務請負契約条項、談合等の不正行為に関する特約条項、暴力団排除に関する特約条項とする。

5 仕様書の交付場所、契約条項等を示す場所、問合せ先及び提出先

〒670-0881 兵庫県姫路市峰南町1-70 契約機関名（担当）：陸上自衛隊姫路駐屯地 第352会計隊姫路派遣隊（濱尾）

電話番号：079-222-4001（内線347） FAX：079-222-4006 メールアドレス：ma347fin-ma@inet.gsdf.mod.go.jp

規格の内容に関する問い合わせ先：姫路駐屯地業務隊 福本（内線379）

仕 様 書

1 件 名

姫路（7）省庁別宿舍（桑の木）非常警報装置取替

2 役務場所

兵庫県姫路市峰南町1-21

3 役務期間

契約締結日～令和8年2月27日（金）

施工期間については、令和8年2月下旬までに完了するものとする。

また細部工程については官側と協議の上決定するものとする。

4 役務概要

工 種		項 目	数 量	備 考
建設保全	警報装置	非常用警報装置 ニッタン複合装置 埋込型 EGU	8カ所	又は同等品以上
		同上取替施工	同上	
		消防届出書類作成及び関係部署提出・検査立会	1式	

5 一般事項

(1) 本仕様書は、「姫路（7）省庁別宿舍（桑の木）非常警報装置取替」に摘要する。

(2) 本役務は、本仕様書及び図面によるほか、消防法及び消防条例、次に挙げる基準仕様書及び監督官の指示により、確実に実施すると共に国土交通省大臣官房庁営繕部監修「建築保全業務共通仕様書」を作成すること。

(3) 役務は、全て丁寧かつ確実に実施すること。

(4) 軽微な変更

現場の納まり、取合せ等のための軽微な変更は、監督官と協議しその指示により行うものとする。

この場合、請負金額の増減又は期間の延長はしないものとする。

また、実施に当たって当然必要と思われる事項は、監督官の指示を受け請負業者の責任において実施するものとする。

(5) 疑義

仕様書、設計図書等に明記なき事項又はその内容において疑義が生じた場合は、当該箇所の役務を一時中断し、監督官と協議し指示を受けた後再開する。

(6) 材 料

材料は全て新品とする。

件 名	姫路（7）省庁別宿舍（桑の木）非常警報装置取替	
種 別	仕様書①	図 番
	姫路駐屯地業務隊厚生科	1/4

(7) 中間検査

ア 役務完了後、外部から明視できなくなる箇所は、監督官に立会の有無を確認の上、必要に応じて中間検査を受けるものとする。

イ 仕上げ又は見え掛かり部分の色合等は、あらかじめ見本を監督官へ提出し承認を得ること。

(8) 器材等の使用

交換作業に必要な機材等は、予備バッテリーを含め請負業者が準備すること。

(9) 作業時間

役務実施時間は、特記事項による。特記事項に記載がない場合は、原則 平日 0830～1700 とする。土・日・祝日の作業は原則認めない。ただし、必要な場合は監督官と事前協議を行い指示を受ける。なお、日時を変更する場合は事前に監督官の承認を受けること。

(10) 後片付け

役務終了に際して、役務現場の後片付け及び清掃を実施すること。

(11) 物品等の返納

貸与された設計図書等がある場合は、全て完了検査合格後、監督官に返納すること。

(12) 現場の管理

ア 役務場所への作業員、その他の出入りの管理、風紀衛生の取締り、火災・盗難及びその他事故防止については、請負業者の責任で管理すること。

イ 役務場所は、常に整理整頓及び清掃を行い安全管理に努めること。

ウ 役務場所及びその周辺にある既設構造物に損傷を及ぼさないよう十分な防護を施すること。

エ 万一損傷をあたえた場合は、請負業者の負担において修復するものとする。

(13) 安全管理

ア 請負業者は、安全管理に万全を期すること。

イ 役務場所又はその付近で作業を行うときは、表示又は安全係を置く等安全確保に務めること。

ウ 現場代理人は、常駐とする。

(14) 提出書類

ア 工程表	1部	(契約締結後 速やかに提出)
イ 内訳明細書	1部	(契約締結後 速やかに提出)
ウ 現場代理人等通知書・経歴書	1部	(契約締結後 速やかに提出)
エ 下請負者設定通知書	1部	(契約締結後 速やかに提出)
オ 打合せ簿	1部	(その都度提出)
カ 材料搬入報告書	1部	(その都度提出)
キ 着手届	1部	(作業着手時)
ク 完了通知書	1部	(完了後 速やかに提出)
ケ 発生材調書	1部	(完了後 速やかに提出)

件名	姫路(7)省庁別宿舎(桑の木)非常警報装置取替	
種別	仕様書②	図番
姫路駐屯地業務隊厚生科		2/4

- コ 作業結果報告書 1部 (完了後 速やかに提出)
- サ その他指示された書類 1部 (その都度提出)

(15) 役務写真

請負業者は、監督官の指示に従い、役務材料、役務前・中・後、役務隠ぺいとなる箇所及び主要な役務段階の状況、その他監督官の指示した箇所の写真（カラーサービス版）1部を工程順に役務写真帳（A4版）に整理し監督官に提出する。

なお、材料は搬入の都度、本役務に関わる全数量・規格が分かるように撮影すること。

(16) 完成検査

請負業者は、本仕様書の役務を完了した場合、仕様書に基づき検査官が実施する完成検査を速やかに受けるものとする。

なお、検査結果に不合格の箇所が生じた場合は、直ちに手直しを行い、再検査を受けるものとする。

(17) 発生材（金属類で売却可能品）については、監督官の指示する場所に集積し、種類別に整理し、発生材調書と共に官側に引継ぐものとする。

なお、その他の廃棄物（蓄電池等含む）については、請負業者の責任において場外処分することとする。この際、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等に基づき適正に処理し、マニフェストの写し（A、B2、D、E票）を工期末までに提出できるように処分すること。

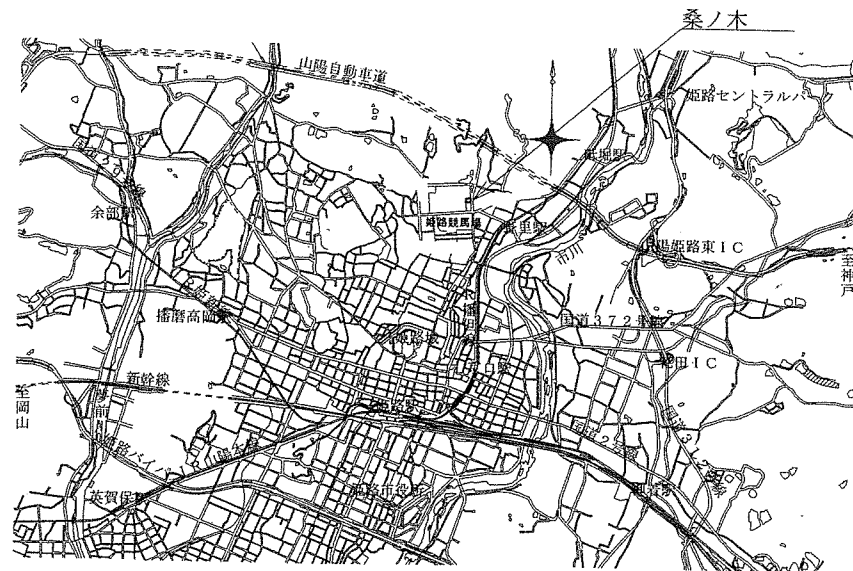
なお、マニフェストについては、請負業者負担とし、処理及び収集運搬の委託契約書及び許可証の写しを提出すること。

5 特記事項

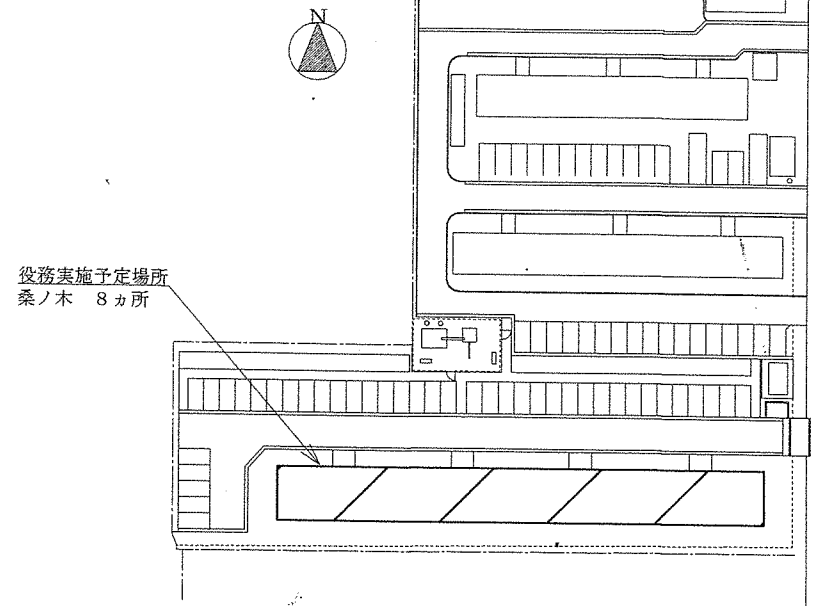
- (1) 応札前に、必ず現地確認すること。
- (2) 非常警報装置等の撤去・取付の際は、既存施設に損傷等をあたえないよう十分注意して行うこと。また万一損傷を与えた場合は、請負業者が責任をもって復旧すること。
- (3) 規格数量は基準とし、現地確認の後、施工に必要な資材等を準備すること。また、使用する材料等は事前に承認函を提出し、監督官に承認を得てから準備すること。
- (4) 電気作業及び非常警報装置取付作業等を行う際、各資格保有者が実施すること。
- (5) 作業完了後、動作点検を実施し異常が無いことを確認すること。
- (6) 本役務で交換した廃棄物（蓄電池等含む）は請負業者の責任で適切に処置・処分等を行うこと。

件名	姫路（7）省庁別宿舎（桑の木）非常警報装置取替	
種別	仕様書③	図番
	姫路駐屯地業務隊厚生科	3/4

案内図 S=1/120,000



桑ノ木配置図 S=1/1,200



件名	姫路(7)省庁別宿舎(桑の木)非常警報装置取替	
種別	案内図・配置図	図番
	姫路駐屯地業務隊厚生科	4/4

同等品判定依頼書(書き方)

分任契約担当官
陸上自衛隊姫路駐屯地
第352会計隊姫路派遣隊長 伊藤 実枝子 殿

住 所
会 社 名
代表者氏名
担当者名
連 絡 先
(注) 押印を省略する場合には担当者名及び連絡先を記載すること。

下記の応札(見積) 予定物品が調達要求物品と同等であることを判定願います。

記

調達要求番号	品 名	仕様書品名	同等品製品名
	仕様書記載の品名	仕様書記載の規格	同等品の品名 製品コード等

添付書類等：
(カタログ等諸元が判断可能なもの)

令和 年 月 日

会 社 名
代表者氏名 殿
(判定依頼書提出者が記入しておくこと)

分任契約担当官
陸上自衛隊姫路駐屯地
第352会計隊姫路派遣隊長 伊藤 実枝子

同等品判定結果通知書

上記応札(見積) 予定物品について、次のとおり判定する。

判 定：同等品として 承認する。
承認しない。

上記申請について、次のとおり確認した。

分任物品管理官等記入欄	要求元記入欄
要求元の所見を確認した。 確認年月日：	仕様及び物品番号・品名との適合を確認した結果 同等品として(認める・認めない) 確認年月日： 確認者所属・階級・氏名：

令和 年 月 日

同等品判定依頼書（見積依頼番号65）
提出期限令和7年11月7日10時30分

分任契約担当官
陸上自衛隊姫路駐屯地
第352会計隊姫路派遣隊長 伊藤 実枝子 殿

住 所
会 社 名
代表者氏名
担当者名
連 絡 先

下記の応札（見積）予定物品が調達要求物品と同等であることを判定願います。

記

調達要求番号	品 名	仕様書品名	同等品製品名

添付書類等： _____
(カタログ等諸元が判断可能なもの)

令和 年 月 日

殿

分任契約担当官
陸上自衛隊姫路駐屯地
第352会計隊姫路派遣隊長 伊藤 実枝子

同等品判定結果通知書

上記応札（見積）予定物品について、次のとおり判定する。

判 定：同等品として 承認する。
承認しない。

上記申請について、次のとおり確認した。

分任物品管理官等記入欄	要求元記入欄
要求元の所見を確認した。 確認年月日：	仕様及び物品番号・品名との適合を確認した結果 同等品として（認める・認めない） 確認年月日： 確認者所属・階級・氏名：